

日本ミャンマー豊友会 第25回スタディツアー感想

岡本崇志

今回私がこのツアーに参加させて頂いた理由は3つあります。一つ目は海外、さらには発展途上国と呼ばれる国に行きたかったこと。二つ目はNPO法人のスタディツアーについていくことで、実態を近くで見ることができると思ったこと。そして、三つ目はこのツアーに参加する方々の話を聞くためです。

ミャンマーの感想としては、私が思っていた以上に活気があり、汚く、せわしないというのが初めに思った感想です。また、砂埃がひどく、日本を出て花粉から逃れたというのに花粉症の症状は当分治まりませんでした。積極的に覚えたてのミャンマー語と拙い英語で直接ミャンマーの人とコミュニケーションをとることで、仏教の教えを基盤とした優しさや豊かさを感じつつも、異なる宗教観からくる疑問というのも同時に感じていました。

このツアーでミャンマーに行くことのメリット…それは、ご飯が毎回めちゃくちゃ美味しいところです。腹も無事壊しましたし、パクチーもたまにあり苦痛でしたが、それを差し引いてもまあ美味しい！体重は増量に次ぐ増量です。宿泊するホテルもいいところです。もちろん、個人では行けないところや、できない経験ができるのが目玉です！支援している村の教育施設の訪問や、培った人脈を使った講演会などはこの豊友会のツアーならではの。教育という自分に身近な観点から見られたので、自分だけの視点で見られたことも多くあったと思います。

最後に、実は隠れたこのツアー最大の魅力を語りたいと思います。それは、参加者の皆様や現地でつながった方々との話です。私は、この旅での最高の収穫なのではないかと思っています。ぶっ飛んだ話から真面目な話まで、それはもう素晴らしいラインナップでした。鳥肌が立ち、自分を揺さぶられるような話をこうも短期間で聞ける経験はそうはないでしょう。皆さんの知識と経験を存分に吸収させていただき、自分の殻を破ります。もちろん、ミャンマーという異国で語ってもらったというのが重要な部分です。いろんな方々とミャンマーで出会えたこと。月並みな表現ですが、この経験は本当に宝物になりました！

ありがとうございました。またミャンマーに行きます！